

## 農林水産大臣賞（被害防止部門（団体））

鳥獣被害対策実施隊に分野毎の専門家を入れ、科学的な視点に基づく被害防止活動やペットフード化等先進的な取組を実施。

### こもろ 小諸市

#### 主な取組

（代表者：小諸市長 小泉俊博）

長野県小諸市

猟友会会員の減少などを踏まえ、市では、平成23年度に鳥獣の生態などに知識を有する野生鳥獣専門員1名を採用し、市職員6名からなる実施隊を結成。

若手の捕獲従事者が有害捕獲へ取り組みやすいよう、実施隊の環境を改善。28年末には、実施隊隊長（専門員）、捕獲部（捕獲従事者）、麻酔部（獣医師）や研究部（鳥獣保護員）など、野生鳥獣に関する業務全般を担う組織へ再編。

捕獲状況に関する情報を実施隊の事務局で一元管理することで、信頼性の高いデータに基づく、科学的な被害防止対策を実施する基盤を構築。

さらに、自動撮影カメラを活用した生息状況調査、ICTを用いた捕獲檻の設置、新たな認定鳥獣捕獲等事業組織の発足、専門員による住民への普及を実施。

併せて、捕獲したシカのペットフード利用も実現。

専門知識を有する者を実施隊へ加え、科学的な視点に基づく被害防止活動などを実現したモデルとして、大いに評価される。